

月刊島民

中之島

Vol.113 2017 12/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン

アートエリアB1の
ここがおかしい。
おもしろい



ナカノシマ大学

「大阪・鳥瞰図列伝

②大大阪時代の
鳥瞰図とその展開」

申し込み受付中!



取材文／江口由夏(本誌)

京阪電車なにわ橋駅構内に広がる、「アートエリアB1」。中之島線開業と共に2008年に開館し、来年は10周年を迎える。通り過ぎることはあっても、実際に何が行われているのか、よく知らない人が多いのではないだろうか。さて、その実体は？

アートエリアB1のマジゴがおかしい。

おもしろい

い ま本誌を手にとっている読者は、可能なら中之島線なにわ橋駅へ直行してほしい。地上からは、大阪市中央公会堂の東向かいにある出口より

続く長い階段を降りよう。地下からは、なにわ橋駅の改札を出て、右手の階段を上ろう。そこが、「アートエリアB1」。

現在、年に一度の「鉄道芸術祭vol.1」が来年1月21日(日)まで開催中だ。「鉄道芸術祭」とは、2010年からこの場所で続いているアートイベントのこと。タイトル通りテーマは一貫して「鉄道」。京阪電車の駅コンコースが会場だから、当然相性がいい。

実験的に始まった2010年のvol.1は、そもそも京阪電車100周年の記念事業だった。アートエリアB1では鳥瞰図絵師・吉田初三郎のデビュー作である『京阪電車御案内』(大正2年)を壁一面に貼り出し、柱には昭和期のモノクロ鉄道写真を飾り、かつての觀光ブームを思い起こさせるノスタルジックな空間に仕上がっていた。京阪電車が所蔵するレアな写真や映像のお蔵

出しは大好評。アートエリアB1運営に加わっている京阪電車の内部からも「いいね」の声が集まり、鉄道芸術祭は毎年秋から冬にかけての恒例行事となった。

その翌年から本格的なアートプロジェクトが始動し、現在の大胆な魅せ方につながるアートエリアB1の真骨頂が発揮されていく。世界的に有名なアーティスト・西野達さんの関西初個展と銘打ち、第2弾のテーマは「鉄道で

鉄道をネタに 思いきり 遊んでしまおう。

■鉄道芸術祭vol.1 「西野トラベラーズ —行き先はどこだ?—」

2011年10月22日(土)~12月25日(日)

第1弾早々にわ橋駅を飛び出してしまい、都市をアートの題材にしている西野達さんが、大阪—京都を結ぶ京阪沿線を舞台に作品を制作。会場にはそんな作品が並んだほか、特設のインターネットカフェが登場。もちろん作品のひとつ。



どこ行くの?



2009年実施の「パラメトリック・グラフィティat なにわ橋駅」はアートエリアB1のスペースばかりが、駅務室の屋根を作品が侵食。これが「駅デコ」の始まりだった。

ありえない!?履歴

**■鉄道芸術祭vol.0
「〆鉄道、の魅力と
新たな可能性を
探る企画展」**

2010年10月16日(土)～
12月25日(土)

鉄道の魅力と新たな可能性を探るキックオフイベントとして出発進化した「鉄道芸術祭vol.0」。会場には歴代の時刻表やかつて売店で扱っていた記念グッズが所狭しと並び、鉄ちゃんたちを喜ばせた。この時はストレートに「京阪電車」がテーマだったが…。



**特等席で
鳥瞰図ひとりじめ**

巡るアートの旅」に。なんと、京阪電車の車両を大胆にオブジェ化してしまった。サブタイトルの「行き先はどこだ?」には、作品の解釈をお客さんにゆだねるという意味も含まれている。運営に携わる大阪大学の木ノ下智恵子さんは「この展示をきっかけに、日常

のあらゆることが作品や表現になり得る可能性に気づいてほしい。本来の駅や鉄道のイメージを拡張させる企画を通じて、物事の捉え方や発想がさまざまな方向に展開していけば嬉しいです」とコメントする。
第3弾以降も鉄道というテーマに思

**電車を
電車として
使わせない**



**貸切電車公演
(「鉄道芸術祭」恒例)**

鉄道芸術祭の恒例プログラムといえば、貸切電車の中で行う「電車公演」。普段は私たちを目的地に運んでくれる電車が、その日ばかりは浪曲の高座やDJ同乗のクラブに仕立てられる。全国的に見ても斬新な企画だ。



開催中!

**■鉄道芸術祭 vol.7
「STATION TO STATION」**

2017年11月10日(金)～2018年1月21日(日)

国内外で活躍するグラフィックデザイナーの立花文穂さんを迎え、ポルトガルまでネタ探しに行ったという鉄芸最新作。立花さんが発行している「球体」になぞらえた会場に集まった作品は、その作者や表現方法は違えど、一様に旅情を誘う。期間中のイベントなど、詳しくはHPまで。



<http://artarea-b1.jp/>
☎06-6226-4006
12:00PM～7:00PM
月曜休
(祝日の場合は翌日)・
12/28～1/3休

**■鉄道芸術祭vol.6
「ストラクチャーの冒険」**

2016年11月12日(土)～2017年1月22日(日)

第6弾では、機械彫刻を手がける榎忠さんが、作品の大砲を使ったパフォーマンスを披露した。京阪電車の関係者が駅のホームやコンコースで待機し、お客さんへのアナウンスもぬかりなく行われ、混乱を回避。



成人の日に祝砲

いもよらない方向性の分野を絡ませ、「成人の日に駅構内で祝砲を打つ」「カメラを扱うイベントで駅舎を暗室に変える」など大胆なプロジェクトを展開していく。「駅でこんなことして大丈夫なんですか?」のツッコミに、関係者は「もちろん関連法規に抵触しない

ように、お客様の安全最優先で調整していますよ。」
アートエリアA1しかできないマニアックさや斬新さが受けて、秋冬シーズンには通称「鉄芸」めがけ遠方から足を運ぶ人も多い。今年どんな内容になっているかは、その目で確かめてほしい。



ありえない!?履歴

放課後に急襲される
フットサル場



鉄道芸術祭vol.4
「音のステーション」

2014年10月18日(土)～
12月23日(火・祝)

サウンドアーティストこだわりの珍しい電子楽器も会場に並んだ。自由に鳴らせる京阪電車の警笛用ラッパが鉄芸らしい。それらの楽器の音やお客さんの話し声などはマイクで集められ、会場の音がネット中継されていた。



シマつながりで、
日本列島の
防災センター



さて、このアートエリアB1の運営には、駅構内というハード面を支えている京阪電車、あらゆる分野における最先端の「知」が集積する大阪大学、舞台芸術のスペシャリストが集うダンスボックスの三者が関わっている。普段交わることがない企業・大学・NPOがそれぞれの得意分野を担当し、未開拓分野を補い合っており成り立っているのがアートエリアB1という

「秋から冬にかけて先述した「鉄道芸術祭」が行われたあと、アートエリアB1では春から初夏にかけて「サーチプロジェクト」という大規模な企画展が開かれる。サーチプロジェクトはこの三者が主催となり、各々のアイデアが一つの形になったもの。事務局の言葉を借りるなら、「様々な表現の試行と実践の場」としてアートエリアB1というスペースが活躍している。つまり鉄道芸術祭よりもテーマの制限がないため、ノンセクションのタイト

ルが並ぶ。「企画を考える際は世の中の動きも参考にしつつ、まず個人の関心事を踏まえてキーワードを出し合います。シンプルなワードでも個人によって解釈が異なるので、一つの軸から複数の軸が派生していく。私たちも未知との出会いに期待しているんです」(阪大・木ノ下さん)。

実験と称して、既存の価値観やジャンルにとらわれないアイデアが生まれていく。アートスペースなので、ギヤラリーや言論カフェになるのは、まだ想像できる。突如出現したフットサル場で遊ぶために地下に潜っていく子どもたち、展示のひとつであるピアノを奏するためだけに毎夜やってくるビジネスマン、粘菌を増殖させているラボで霧吹き片手に歩きまわる白衣姿の研究員……。時には、そんな光景と駅で遭遇する。七変化するコンコースこそが、アートエリアB1なのだ。

電車に乗らなくても許される。

ダンスボックス



ブリッジシアター

大阪大学



ラボカフェ

京阪ホールディングス

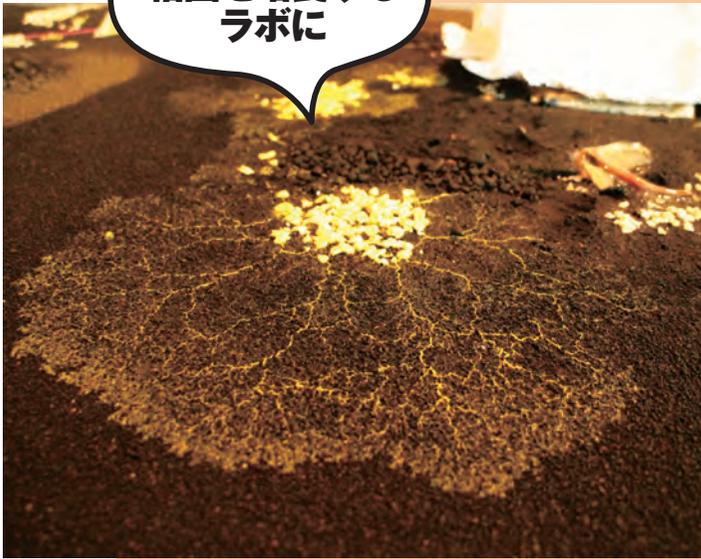


ミュージックカフェ

通常運転のイベント群

日本センチュリー交響楽団との共催で行っているミニコンサート「ミュージックカフェ」。哲学やアート、医療といった多彩なテーマで、レクチャーや対話プログラムを開催している「ラボカフェ」。駅という空間に身体を添わせて魅せるダンスパフォーマンス「ブリッジシアター」。通年で単発実施されているこれらは、平日夜に行われているものも多く、それこそ退社後に駅に向かい、そのままふらっと参加する人も少なくない。

**粘菌を培養する
ラボに**



**■サーチプロジェクトvol.3
「アパートメント
ワンワンワン
～中之島1丁目1-1で
繰り広げる111日～」**

2014年3月29日(土)～
7月6日(日)

アートエリアB1の実際の住所
「中之島1丁目1-1」に出現し
た物件には様々なアーティスト
が住んでいるという設定。彼ら
が遊んでいたフットサル場が
中之島界隈の子どもたちに見
つかり、ジャックされてしまうほ
ど人気に。



**■サーチプロジェクトvol.4
「ニューコロニー／アイランド、
～島のアート&サイエンスとその気配～」**

2015年3月28日(土)～6月28日(日)

粘菌を中之島の模型に這わせ、都市と菌類の知性を掛け合わせる試み
をしたサイエンスシリーズ1発目。気まぐれな粘菌が突然胞子になってしまうハ
プニングもあった。会場奥の培地ではいたが健やかに育っていた。



**音楽スタジオでは
ないんですが**

**■サーチプロジェクトvol.6
「ニューコロニー／
アイランド、3
～わたしのかなたへ～」**

2017年3月28日(火)～6月25日(日)

地球に続いたテーマは「体内」。ノーベル
賞受賞で一躍有名になったオトフア
ジを題材に、体内のたんぱく質の種類
の数だけイメージした「細胞的遊戯装
置」を置いた公園を設置。無邪気に遊
ぶ子どもたちの姿がとてもシュール。



**体内の細胞を
イメージした公園**

**■サーチプロジェクトvol.5
「ニューコロニー／
アイランド、2
～災害にまつわる
所作と対話～」**

2016年3月11日(金)～6月26日(日)

近年はサイエンスがブームだったアート
エリアB1の企画展。昨年は災害＝地
球の営みに着目したことで一気に中之
島から飛び、グローバルどころか宇宙に
まで話題が及んだ。特殊な立地にある
近未来型防災センターといえる。



ありえない!?履歴

とりあえず
やってみる



2006

■中之島コミュニケーションカフェ
「駅ができる!」
~中之島新線・新駅創造ものがたり~

2006年10月13日(金)~10月15日(日)

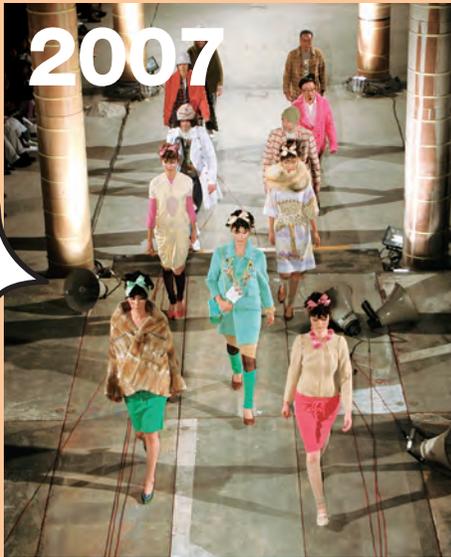
ずばり建設現場だった中之島公園の一角をカフェに。アーティストやミュージシャンらが代わる代わる登壇し、地下には展示が。現在のラボカフェやブリッジアターの先駆けのようなイベントが開催されていた。



■中之島コミュニケーションカフェ2007
「ex-station 可能性の駅」

2007年10月12日(金)~10月14日(日)

ランウェイの写真は、工事現場に必須なヘルメット・軍手・ベタ靴の存在意義を問いかける、ファッションをテーマにした「ハイブリッドショーケース」。地下30mの土木空間が駅になる1年前のことだ。



2007

工事現場を
舞台装置に

京 阪電車中之島線開業と同時に設置されたアートエリアB1は、来年10周年を迎えるが(『月刊島民』とも同い年)、その前史までさかのぼると、その頃から現在の奇想天外ぶりにつながる兆しがあった。

中之島線の工事が始まったのは2003年のこと。御堂筋と堺筋の下を走る地下鉄を迂回して掘り進む大掛かりな工事となるため、まとまった年数が必要だ。その間、大阪市中央公会堂もある工事エリアは人の行き来が途絶え、その美観も失われてしまう。そこで、

でききるまで
待てなかつたん
ですか?

建設現場の一部を開放し、一般の人々が訪れられる空間を作ろうという意向が京阪電車から出された。

ちょうど中之島にゆかりが深い大阪大学は新たなセンターを発足し、学内外が連携した学びの場を広げようとしており、コンテンツポラリータンスをメイン活動として行っていたダンスポツ

クスも新天地を求めていた。こうして2006年、アートエリアB1の前身である「中之島コミュニケーションカフェ」が実現。地上と地下の工事現場で、さまざまなアートパフォーマンスが行われた。

その実績をもとに、翌年の2007年にはなんと地下30mの工事現場でファッションショーを決行。写真だけ見るとかつこ良すぎるが、まさかこれはずばり駅で、ランウェイがホームの中心、客席が線路になるなどとても想像がつかない。



当日は三者のほか、graf代表で、事務局を担う(一社)アートエリアビフンの副理事長でもある服部滋樹さんも登壇した。

でも、登壇した小川哲生さん(大阪大学理事・副学長)が、江藤知さん(京阪ホールディングス株式会社経営統括室事業推進担当部長)に、鉄道の駅に別の秩序や異質な空間を持ち込むなんてこと、普通はやらないですよ。京阪電車という会社はこういう社風なんですか? 変わってますね!」と突っ込む場面があった。その答えは「進取の精神」。通常時は3枚扉なのにラッシュ時には5枚扉になる車両やテレビカーに表れている「新しいことをやってみよう」という思いが、アートエリアB1にも息づいているという。

「新しいことをやってみよう」という思いが、アートエリアB1にも息づいているという。とはいえ、進行役の木ノ下さんが「持ち寄りの社会実験」と称したとおり、三者が力を合わせて試行錯誤するというのは、かなり大変だ。たとえば大谷煥さん(NPO法人ダンスボックス理事長)が話すように、一般的な美術館や劇場で解決できるような搬入や搬出の導線、湿度や温度の管理が難しい。あくまで新線工事の一環であり、元から美術館や劇場として使用する想定がなされていないからだ。しかし、「これがダメなら、この方法はどうかだろう」と、それこそさまざまに実験ができる可能性を秘めた場所だと登壇者は口をそろえて言う。それは、のびしろ十分な中之島という街に重ねているのかもしれない。中之島四丁目の新美術館建設に大阪大学の「中之島アゴラ構想」、中之島の西側を南北に貫く新線開設など、ニュースは絶えない。アートエリアB1は、そのハブになり得る場所だ。

さまざまな可能性を秘めている。

そもそも、新線の駅構内にコミュニケーションスペースをつくるというアイデアが、何年も前から計画されている工期の途中で組み込まれたこと、アートスペース、舞台、コンサートやトーク会場など、変幻自在のスペースを作ったことが、大胆でもしろい。

去る10月20日(金)にアートエリアB1で行われたオープンミーティングでも、登壇した小川哲生さん(大阪大学理事・副学長)が、江藤知さん(京阪ホールディングス株式会社経営統括室事業推進担当部長)に、鉄道の駅に別の秩序や異質な空間を持ち込むなんてこと、普通はやらないですよ。京阪電車という会社はこういう社風なんですか? 変わってますね!」と突っ込む場面があった。その答えは「進取の精神」。通常時は3枚扉なのにラッシュ時には5枚扉になる車両やテレビカーに表れている「新しいことをやってみよう」という思いが、アートエリアB1にも息づいているという。

ありえない!? 履歴



芥川賞作家の書き下ろしも召喚



■ 鉄道芸術祭vol.2 やなぎみわプロデュース「駅の劇場」

2012年10月13日(土)~12月24日(月・祝)

「ここも駅なんですか?」と間違った人がいたというくらいリアルな駅。実は舞台装置の一つなのだが、その材料は京阪電車の駅と同じ。つまり使われなくなったレールが運び込まれ寸法を合わせてカットされている。



■ 鉄道芸術祭vol.3 松岡正剛プロデュース「上方遊歩46景 ~言葉・本・名物による展覧会~」

2013年10月22日(火)~12月25日(水)

編集者の松岡正剛さんプロデュースで、「言葉」がテーマだった鉄芸第3弾。大阪の京阪沿線にゆかりが深い町田康・柴崎友香・有栖川有栖といった大物作家たちの京阪電車を題材にした豪華書き下ろしが展示された。



真下の駅と同じ素材

まわりに影響を 与えてている。

中之島は芸術・文化ゾーンです。から、アートエリアB1のような場所があるのは自然なことかもしれませんね」と話すのは、およそ6年前からアートエリアB1の実務に携わる京阪ホールディングスの川上卓男さん。「なにわ橋駅は、中之島線の4駅の中で最深。地上に中之島公園や大阪市中央公会堂があるエリアのイメージとしても、地下に商業施設を新たに作る事が最適解とは限りません」。

川上さんは経営統括室の事業推進担当として、中之島線のみならず沿線の



年々プログラムが増えている「キテ・ミテ中之島」。時には駅コンコースが親子ワークショップの会場に早変わり。

魅力を発信するイベントの数々を担当している。相対的に見て、アートエリアB1の事例はやはり特殊だ。「阪大さんのアイデアやネットワーク、ダンスボックスさんの演出や技術は、企業では思いつけないものがある。その実現に向けて、できるだけ協力したいという気持ちがあります」。そのため、他部署との調整にはかなり汗をかく。その連携を通し、社内でのアートエリアB1の認知度も上げることが目標だ。

アートエリアB1での実績は、京阪沿線の駅の活用法にヒントを与えている。たとえば、幼稚園児からプロのアーティストまで多種多様な作品が駅を彩る「キテ・ミテ中之島」。中之島駅をメイン会場として2012年にスタートし、今や国立国際美術館や大阪市立科学館といった地上の文化施設も巻き込む規模に。西から東へ、アートの波が到来している。「中之島らしいイベントですが、いずれは京阪沿線のどの駅でも実施できたらいいですね。『技術の京阪』だけじゃなく、『芸術の京阪』とも呼ばれるように」。

パンツが揺れる
駅美術館

キテ・ミテ中之島

主になにわ橋駅にぎわうバラの季節、働く島民や観光客たちを出迎える恒例の駅アート。参加するアーティストの中でも貴重な催しになっており、これがかきかけで、新たな作品づくりや展覧会につながったことも。



駅活用あれこれ

中之島駅 ホーム酒場

昨年の夏に、知る人ぞ知る中之島駅の3番ホームで初開催。もともと京阪電車はおでん列車や日本酒列車などの実績があるうえに、珍しさがメディアに受け、入場規制されるほどの人気ぶりだった。次の開催が待たれる。



電車が発車しない駅

中之島まるごとフェスティバル

電車公演は
お手のもの



当初は中之島フェスティバルタワー内で行われていた音楽プログラムに、近年は京阪電車も参加し、「車両演奏会」を実施。中之島駅一寝屋川車庫間の約1時間、吹奏楽部の高校生たちが一両ごとに異なるテーマで熱演。

大阪水上バス 幕末忍者キッズクルーズ



数年前から始まった同社の新しいクルーズ。今年は「キテ・ミテ中之島」の1プログラムとして、参加した子どもたちは謎解きクルーズに加え、淀屋橋を通り大江橋駅の地下でボスと最終決戦。街ぐるみの企画になった。

駅=ボスの
アジト?



鳥の目で大阪を
見た絵師たち

◎今月の授業

【鳥瞰図】

◎今月の1枚

「近畿名勝遊覧早わかり地図」

(1931年発行・本渡章蔵)

大大阪と近畿地方の名所風景、そして「私鉄王国」と呼ばれることになる鉄道網を空から見下ろす鳥の目線の心地よさ。あちこちにちりばめられたイラストの風味がますます遊覧気分を盛り上げる。



2018年1月講座

「大阪・鳥瞰図列伝 ② 大大阪時代の鳥瞰図とその展開」

講師／本渡章(作家)

大大阪時代を迎えて花開いた鳥瞰図表現。
遊覧図を初めとする、百花繚乱の様子を見よ。

大正14年(1925)、人口と面積で日本一となった「大大阪」が誕生した頃、全国津々浦々を覆い尽くした鉄道網は、日本列島に大観光時代の幕開けを告げていた。

その中でも、新しい名所が各地にひしめき、官鉄と私鉄がしのぎを削る大大阪は、遊覧旅行のメッカとなった。

鳥瞰図ブームの先駆者となり、「大正の

広重」と呼ばれた鳥瞰図絵師・吉田初三郎の活躍は、その門人たちやライバルたちに引き継がれ、一方で鳥瞰図表現の幅を広げた遊覧地図も繚乱期を迎えた。多彩な個性が腕を競い、人々を新時代の旅の夢に誘う。大正時代から昭和初期にかけて一気に広がりを見せた、絵師たちの鳥瞰図作品世界をたっぷりご紹介。

募集要項	<p>「大阪・鳥瞰図列伝 ②」</p> <p>日時／2018年1月17日(水)</p> <p>7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM～)</p> <p>会場／大阪市中央公会堂 小集会室</p> <p>受講料／2,500円(鳥瞰図付き)</p> <p>定員／80名</p> <p>主催／ナカノシマ大学事務局</p>	<p>お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。</p> <p>〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号 「ナカノシマ大学1月講座」受付係 FAX.06-6484-9678</p> <p>※先着順で受付後、12月20日前後より受講票をお送りします。 ※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。 ※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。</p>
------	--	---

ナカノシマ大学の最新情報は

<https://nakanoshima-daigaku.net/>

ケータイや
スマホからは
こちら!→



お問い合わせ
☎06-6484-9677
(ナカノシマ大学事務局)

十一月席のご案内

申込受付中

●お題「ゲテモノ」

「ゲテモノ食いの仕組み」

今回は2017年最後の「終い天神」年の瀬の忙しなさも吹き飛ばしてくれりようなインパクトあるお題にふさわしい、珍妙な落語で大笑いしよう。鼎談には、細胞が自分で自分を食べる「オートファジー」を研究している大阪大学の吉森保さんが初登場。私たちの体内で行われている「自食作用」について解説する。

落語／桂紋四郎「七度狐」

林家染雀「腕喰い」

林家染左「こぶ弁慶」

桂三歩「蛇含草」

桂春之輔「もう半分」

鼎談／「オートファジーな落語」

吉森保次（大阪大学栄誉教授）

高島幸次（大阪大学招聘教授）

桂春之輔

ゲストは細胞生物学者 吉森保先生。一足先を浴びた「オートファジー」とは？



桂三歩さんが演じる「蛇含草」。聞き慣れない草を食べてみた、大食い男の運命やいかに。

ナカノシマ大学でお得な前売り券を発売中！

開催日／12月25日(月)

開演時間／6:30PM(開場6:00PM)／受付開始5:45PM)

受講料／2300円(通常・前売2500円)／当日3000円

お支払い方法／当日(5:45PM)、繁昌亭入口付近の「ナカノシマ大学受付」にてお支払いください。

※予定枚数に達し次第、予約受付を終了します。※ナカノシマ大学では当日券の販売は致しません。

●お申し込み方法、お問い合わせ先はP9を参照してください。



イラスト／フジワラモコ

鼎談に引き続き、桂春之輔師匠が挿尾を飾る。身の毛もよだつ怪談で繁昌亭に大寒波襲来!?

九月席の二コマ

御森場御礼

鼎談「天才物理学者がひも解く」

橋本幸士 高島幸次 桂春之輔

春 天神寄席で高島先生とコンビでやらせていただいて3年あまり経ちますが、こんな難解な演目ばかりの回はおまへんで。特に「さくらんぼ」。さくらんぼを種ごと食べた男の頭から桜の木が生えて、最後は自分の頭にできた池に飛び込んで死ぬ。めちゃくちゃな話ですわ。

高 そんな不条理落語をひも解くコツを、ゲストの天才物理学者・橋本幸士先生に教えてもらいましよう。

橋 物理学は、ものごとを解き明かす学問です。具体的にどういう手法で解き明かすのか？その秘伝をお伝えします。①抽出②定義③論理というたつた3つのステップです。①抽出・問題は一般的に多種多様です。全ての問題を物理学だけで解決す

るのとは不可能なので、取り扱える範囲を抽出します。②定義・曖昧な言葉やものごとを定義します。定義は自分で決めて良いです。③論理・あとは様々な数式を用いて、ひたすら計算する。という手法です。

春 大学の講義みたいでんな。

高 物理学に限らず、どんな学問でも、ひとつの説に対して、自分だけではなく、他の人が証明できなければいけない。そのためにこの秘伝は重要ですね。

春 みんなが理解できへん「さくらんぼ」もこの秘伝で解けるんかいな。

橋 物理学者が最も脚光を浴びるのは、最も困難な問題を解き明かせたときですからね。

春 今日の話についていけるやろか。

島民よ、この店のことを食べえ!

第十回
北浜の谷間に爆誕した、
ミニクで小洒落たカレー屋。江弘毅（本誌編集発行人）
「オクシモロン」

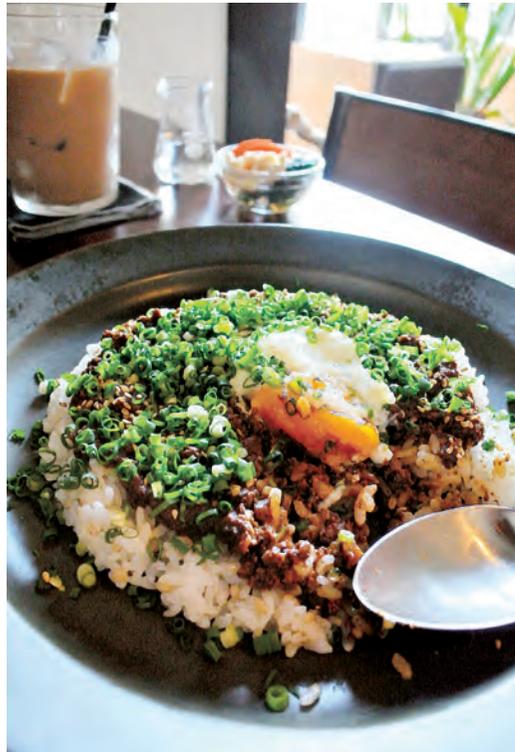
月刊島民の読者の皆さんならもう知っていると思うが、北浜の証券取引所の斜め向かいに10月にオープンしたばかりの「Come to the River」。「ちいさいおうちプロジェクト」とネーミングされた、古い長屋を商業施設としてコンバージョンした新店だ。その一軒のカレーショップ「オクシモロン」

が開店早々話題を呼んでいて、休日などは1時間並んでやっと入れるほどの人気ぶりだ。

土佐堀通りに面した建物が「え、こんなところにまだこんな建物が」という大正元年に建てられた木造の二軒長屋。ビルの谷間に挟まれたような二階建ての黒壁、黒い瓦屋根の建物で、窓は古い蔵の扉にあるようなぶ厚い耐火窓がはめ込まれている。

その東側の1〜2階が人気爆発中の「オクシモロン」で、西側がコーヒショップと地下のプライベートだ。

設計監理を行った「イケフェス大阪」の事務局長でもある建築家の高岡伸一さんいわく「中に入



ると立派な金庫がありました。北浜という土地柄、お金や証券を扱っていた金融系の事務所だったのではないかと思います。改装・補修、耐震補強を施す際に、外に塗られた白い漆喰をはがすと黒漆喰が見えたので、外観を元々の黒に戻した。

それまで10年ぐらい空き家だった小さな古い建物が、黒壁にリメイクされ、西洋古典様式のベデイメント付きで突如現れたインパクトは強烈で、噂を聞きつけてやって来た来店客のみならず、中之島界隈のまち歩きに参加する初老の女性グループから自転車の若者まで、立ち止まって窓からの

ぞき込んだり、スマホを取りだして撮影する人も多い。

二軒長屋の東側がこの「オクシモロン」(OKUSHIMORON)だが、聞き慣れぬ英語の店名は、「永遠の瞬間」だとか「明るい闇」だとかの反対矛盾する語を組み合わせる修辞のこと。そんな考え方から創作されるカレーは、「和風キーマカレー」「エスニックそぼろカレー」といったメニュー名からは想像できないユニークなもの。

「和風キーマカレー」は根菜と豚ひき肉を複数のスパイスで調理したのだが、一見矛盾する組合せの妙が「カレーだがカレーっぽくない」オリジナルテイを創出している。

大阪や京都の古い町家や長屋などをそのままレストランやカフェ、ブティックなどに転用した商業空間が増えたのは1990年頃だと記憶するが、ここはすでに北船場の文句なしの名所となっている。



オクシモロン
休日は昼2時を過ぎても、ランチ兼カフェ使い目当ての列が続く。客の9割は若い女性。男性がいたらそれはカップルの片割れだ。島民諸君は平日に行くべし。定番は甘辛い和風キーマカレー(1,200円)。ランチ時に飲み物やデザートセットにすると、割引になる。
平日11:30AM~3:00PM (L.O.2:30PM) 5:00PM~9:00PM (L.O.8:30PM) 土・日・祝11:00AM~7:00PM(L.O.6:30PM) 水曜休 ☎+06-6227-8544



→おかげさまで3月発売の「いっとなあかん店 大阪」に続き、8月に販売した「いっとなあかん神戸」も2刷です。京都編とか、大阪編の中国語版とか、進行中のもんが山ほどあります。

トウミン月報

2017年12月1日発行



「街が光のミュージアムだ！ 大阪・光の饗宴2017」

最近の中之島を歩いていると気づく、街中にあふれるイルミネーション。そう、今年も「大阪・光の饗宴」が始まっている。

メインとなるプログラムは淀屋橋から南にまっすぐ延びる御堂筋のイルミネーションと、大阪市役所があるエリアを中心に水辺やランドマークが光り輝く「OSAKA光のルネサンス」の2つ。中之島を東西に、南北に歩いても美しい景観が楽しめるようになっていく。



15周年を迎える「OSAKA光のルネサンス」では、毎年好評の「ウォールタペストリー」が大阪市中央公会堂で開催。鮮やかな映像が建物の壁面に映し出され、音楽に合わせてくるくる表情を変えていく。

「大阪・光の饗宴」の特徴は中之島まちなみらい協議会をはじめ、中之島にゆかりの深い地元企業もエリアプログラムとしてイルミネーションに参加していること。ダイビルなどの近代建築群はいっそう美しく輝き、ほたるまち港の水を使ったショーも迫力あり。今年は大阪水上バスの特別仕

る。市役所南側にはマルシェもたくさん並ぶ。アツアツのフードを食べながらゆったり観覧しよう。



今月23日(土・祝)には「ONE★COIN 見学会&コンサート2017」が中央公会堂で開かれるので、それに合わせて見に行ってもいいかもしれない。ワンコインで、館内の至るところで開かれるクラシックに和楽、ゴスペルのコンサートが楽しめる賑やかな一日となる。大集会室ではよく知られたクリスマスソングも演奏されるとのこと。大人も子どもも来館歓迎。



様のクルーズも運航し、川沿いをただ歩くだけでもクリスマス気分がさせてくれる。地下では中之島線の駅も電飾でおめかし。イルミネーションを見に来た人々を温かく迎えている。(江口由夏・本誌)

大阪・光の饗宴2017

<http://www.hikari-kyoen.com/>

OSAKA光のルネサンス2017

期間/12月25日(月)まで 点灯時間/5:00PM~10:00PM

大阪市中央公会堂

ONE★COIN見学会&コンサート2017

日時/12月23日(土・祝)1:00PM~8:00PM(最終入場7:30PM)

会場/大阪市中央公会堂(一部、見学不可の場所あり)

料金/500円

問い合わせ ☎06-6208-2002(大阪市中央公会堂)

フェスティバルプラザの5周年ありがとうフェスタ

中之島フェスティバルタワーの商業フロアであるフェスティバルプラザ。今年ツインタワーとなってプラザの規模も拡大し、ますますパワーアップ。

5周年を迎え、フェスティバルプラザでは豪華賞品があるスタンラリーガチャキャンペーンがスタートした。期間中に500円以上の飲食やショッピングで、スタンプが一つもらえる。5つ集まればガチャ1回チャレンジ可能。その賞品は、フェスティバルタワー・ウエスト最上階に入るコンラッドホテルの宿泊券や、各シェフが腕をふるっ「ラ・フェット」。



[ラ・フェット・ひらまつ]

クルーが毎月続ります!

大阪水上バスの クルーズ歳時記

今月のオススメ アクアライナー 「船上クリスマスショー &光クルージング」

船着場からも近い大阪城天守閣前の広場は、いつも賑わっています。観光客だけでなく、地元民が散歩に連れてくる犬や猫、オウムにイグアナ、ワシにリスまで! スタッフがペットのすっぽんを散歩させて一時人気者になったのですが、すっぽんが亡くなり一人で散歩に出ると、なぜか周囲の目が冷たい。どうやらペットを食べたと思われていたようで…。



大阪水上バス
企画宣伝部
岸田俊徳さん



さて、今回ご紹介するのは、「船上クリスマスショー&光クルージング」。元タカラジェンヌの仙堂花歩氏とギタリストの中島岳氏がプロデュースするショーが楽しめるクルーズです。中之島界隈のライトアップも船内からご覧いただけます。

「生き物の夜の気配を感じる旅」も面白いですよ。夜間運航中に橋のたもとで休んでいるスーリアアオサギ、飛び跳ねるコイやボラを見かけると、ナイトサファリのような感じです。川の底から外来種の大きな「アリゲーターガー」があなたをじっと見ているかも…。

料金:大人1,600円・小学生800円
運航時間:約25分(17時45分~20時00分
10~25分間隔で出航)
乗船港:淀屋橋港、または大阪城港

大阪水上バス クリスマス

☎0570-03-5551



http://suijo-bus.osaka/

この1日(金)より、大阪府立中之島図書館で建築家・安井武雄の展覧会が開かれている。主催は安井建築設計事務所。これまで数々の建築関連の展覧会に協力することは多かったが、自らが創業者の生涯や作品について詳しく取り上げることは初めて。2024年の事務所創業100周年も迫り、力の入れようが伺える。本誌でもたびたび取り上げたとおり、大正から昭和にかけて中之島界隈の名建築をいくつも手がけた安井武雄。デ



提供 安井建築設計事務所

「大阪」の景観に寄与した 建築家・安井武雄 初の展覧会

ビュワー作である大阪倶楽部、堺筋沿いの高麗橋野村ビル、そして御堂筋沿いにある大阪ガスビルは特に「生きた建築

として有名で、先日のイケフェスで中に入ってみた人も多いただろう。今回はこの3つの

建物を中心に、安井の手によるスケッチや図面など貴重な資料が並ぶ。想像力をかきたてられる当時の写真や映像も合わせて、安井が大阪でどのように考えを巡らせていったのか、その軌跡をたどろう。(江口由夏・本誌)

建築家・安井武雄の創造力 近代大阪の精華
大阪府立中之島図書館 本館3階 展示室(入場無料)
【開館時間】平日:9時~20時、土曜・最終日:9時~17時、日曜・祝日:休館

TAKEO YASUI
2017年12月1日(金)~12月26日(火)

「建築家・安井武雄の創造力~近代大阪の精華~」
期間/12月26日(火)まで
会場/大阪府立中之島図書館 本館3階 展示室 ※無料
開館時間/9:00AM~8:00PM(土曜と最終日は5:00PMまで)
休館日/日曜・祝日
問い合わせ/☎06-6203-0474(大阪府立中之島図書館)

中之島フェスティバルプラザ
「スタンプラリーでガチャ!」
スタンプラリー期間/12月22日(金)まで
ガチャ抽選会日時/12月18日(月)~22日(金)
各日11:00AM~3:00PM
抽選会場/中之島フェスティバルタワー
サンクンガーデン南側



ンペーンも「ミニフェスト」として実施中。どの店が選ばれたかは、現地に行っからのお楽しみだ。(江口由夏・本誌)

[レストランアラスカ]



ひらまつ」や「レストランアラスカ」のお食事券に、フェスティバルホールの鑑賞券などこの場所できか実現しないラインアップだ。12月6日から10日ま



「コンセプトはプロが作った家庭料理。鶏やお店に親しみを持ってもらいたい」

串を焼く手元は、常にお客さんから丸見えなんです。いま焼いているこの串は「もも」。味がしつかり中までしみていくように、何度もタレを付けながら焼いていきます。お客さんの視線を感じて緊張はしますが、もう慣れました(笑) 厨房の目と鼻の先にあるカウンターは距離が近く、料理人のパフォーマンスが一番伝わる席だと思います。タレが焼ける香ばしい匂いもダイレクトにやってきますから。焼鳥が珍しいのか、特に外国人の方には喜んでもらっていますね。身軽なファッションだと、上階にあるコンラッドホテルに泊まっている方かなと勝手に想像しています。もしかして、向かいのフェスティバルホールに出演される方だったりして。



うちでは主に「みつせ鶏」という銘柄鶏を使っています。故郷の三瀬がある佐賀ではおなじみのブランドですが、関西ではまだ珍しいでしょうか。地鶏よりも柔らかく、ブロイラーよりも弾力があり、噛めば噛むほど旨みが出てくる。焼鳥ならではの香りが立ち、皮も美味しく、タレでも塩でもイケます。煮

ても焼いても、揚げて茹でてでも良い。みつせ鶏の魅力を知ってもらおうべく、い



佐賀ブランド鶏の美味しさを中之島で広めている

【鳥料理 藤よし】店長 村上大一さん

盛って、テーブルまでお持ちします。店としては「家庭料理をプロが作ったたら」というコンセプトなので、博多の専門店のようにオシャレなしつらえの水炊きではありませんが、みつせ鶏やお店に、親しみを持っていただけだと思います。

中之島界限にはマシヨーンが増えていくと聞きました。そのせいか、お子さんがいるファミリーのご来店も多いです。チキン南蛮や蒸し鶏のサラダなど、どんな年齢の方でも食べやすいメニューがよく出ますね。

ろいろな調理法のメニューを用意していますので、あれこれお試しください。でも、冬の寒い季節ならやはり水炊きでしょう。みつせ鶏の出汁が溶け込んだコーゲンベースのスープと、たっぷり

でも食べられます。「もしかして」と気づかれるお客さんもちらほらいらっしゃいますね。私も前の店で焼き続けていたこともあって、思い入れの深い名物料理です。でも明太子入りはここだけ。そこはやっぱり、九州料理の専門店なので。

祝祭へようこそ。



<http://festivalplaza.jp/>
提供/株式会社 朝日ビルディング

Information from 鳥料理 藤よし [中之島フェスティバルタワー・ウエストB1階]

鶏の水炊(一人前2,300円・二人前から注文可能・写真は三人前)は、焼鳥とはまた違い、もっちりしたみつせ鶏の食感が楽しめる。アツアツの鶏すき鍋(一人前1,800円)と迷ってしまう。みつせ鶏料理を食べ比べたい人には、北浜や中之島と名がついたコース(3,500円〜)や御膳(2,000円〜)がおすすめ。忘年会、新年会にもぴったり。
☎06-6220-2888 11:00AM~3:00PM(L.O.2:30PM)
5:00PM~11:00PM(L.O.10:00PM)



大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪特急プレミアムカー/京阪シティモール/京阪モール/パンナテ天満橋店/ホテル京阪 天満橋/ホテル京阪 京橋 グランテ
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店]旭屋書店 梅田地下街店/紀伊國屋書店 梅田本店/グランフロント大阪店・本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/梅田ヒルトンプラザ店・天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など]アイスポット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立科学館/大阪市立総合生涯学習センター/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪梅田サテライト/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪シティキャンパス/国立国際美術館/CITYNAIL/インターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/少彦名神社/中央電気倶楽部/適塾/ドーチカ/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス [店舗・医院など]アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前製料理 志津可/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/エルマーズグリーン コーヒーカウンター/大西洋服店/OOO(オーオー)/カセツ/喫茶カンター/喫茶SAWA/グランスイート中之島/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/パストラーレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/FOLK/プレイムハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店]旭屋書店 なんばCITY店/紀伊國屋書店 京橋店/ジュンク堂書店 難波店/福島書店/柳々堂/ループル書店 [公共施設・大学関連施設など]大阪科学技術館/大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立中央図書館/大阪府立江之子島文化芸術創造センター/川口基督教會 [店舗・医院など]あじさい/アートアンドフラット/欧風食堂 ミリパール/大阪シティ信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/カルチャーカフェ上方/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワナ/バルビコ/ホステル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学堂堂 Books 呼文堂/水嶋書房 くらげはモール店/大阪狭山市立図書館/大阪府立難波市民学習センター/大阪大学企画部広報・社学連携事務局/大阪大学 21世紀環境堂/大阪大学本部/大阪府立中央図書館/摂南大学 地域連携センター/野村呼文堂/郵政考古学会/ゆったりんこ/連携者 児童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/恵文社 一乗寺店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンパソノ/百練/奈良県立図書館情報館/龍谷ミュージアム
- 東京 往来堂書店(千駄木)/BOOKSルー(吉祥寺)/B&B(下北沢)/隣町珈琲(荏原中延)/ONLY FREE PAPER(東小金井)/かもめブックス(新宿)

◎バックナンバーが見られます。

最新号の発行と同時に、ひとつ前の号がweb上で閲覧できるようになります。創刊号から見たい方はこちらから。<https://nakanoshima-daigaku.net/about/tomin/>

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 難しいことを、面白く。

なぜ大阪の専門家は、難しい研究内容を面白く語り、書くのだろう。
笑っているうちに学べてしまう、「おもしろ研究者」の特集。

●『月刊島民』vol.114は2018年1月1日発行です！

編集・発行人/大迫力(編集集団140B)
編集・発行/月刊島民プレス
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 江口由夏(編集集団140B)
〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号
TEL.06-6484-9677 FAX.06-6484-9678
制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン/山崎慎太郎
表紙イラスト/奈路道程
印刷/佐川印刷株式会社

月刊島民中之島 113号 2017年12月1日発行 編集・発行人/大迫力(140B) 編集・発行/月刊島民プレス

〒5300047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号 定価0円 Printed in Japan



きょうは、どこいこ、京阪で。

in KYOTO, on KEIHAN.

